

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	神経・筋疾患、脳・脊髄血管疾患における診療情報と生体試料を用いた病態解明への観察研究
当院の研究責任者 (所属)	楠瀬賢也（琉球大学大学院医学研究科循環器・腎臓・神経内科学講座 教授）
他の研究機関および 各機関の研究代表者	該当なし
本研究の目的	神経・筋疾患（脳・脊髄血管疾患、神経変性疾患、多発性硬化症、視神経脊髄炎、自己免疫性/感染性脳炎、脊髄炎、ギラン・バレー症候群、免疫性ニューロパチー、重症筋無力症、POEMS 症候群、筋炎、ミオパチー）の病気の仕組みを詳しく調べ、病気を見つけるためのマーカーを発見することで、将来的な診断・治療法の発展に役立てることを目的としています。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～2035 年 3 月 31 日
調査データ（該当期間）	2000 年 1 月～2025 年 7 月の期間に当科で診療を受けられた情報と保存試料
研究の方法 (利用する試料・情報等)	対象となる患者さま 2020 年 1 月から 2025 年 7 月の期間に琉球大学病院神経内科に入院または外来受診された患者さま - 以下の神経・筋疾患のいずれかと診断された 18 歳以上の患者さま - 脳・脊髄血管疾患 - 神経変性疾患 - 多発性硬化症 - 視神経脊髄炎 - 自己免疫性/感染性脳炎、脊髄炎 - ギラン・バレー症候群 - 免疫性ニューロパチー - 重症筋無力症 - POEMS 症候群 - 筋炎/ミオパチー - 診療で採取された血液・髄液・組織試料が保存されている患者さま 利用する試料・情報 - 患者背景：年齢、性別、身長、体重、既往歴、家族歴、アレルギー歴 - 診断：☐脳・脊髄血管疾患 ☐神経変性疾患 ☐多発性硬化症 ☐視神経脊髄炎☐自己免疫性/感染性脳炎・脊髄炎 ☐ギラン・バレー症候群☐免疫性ニューロパチー ☐重症筋無力症 ☐POEMS 症候群☐筋炎/ミオパチー ☐その他（ ）

	診断根拠： ☐臨床症状 ☐検査所見 ☐画像所見 ☐病理所見 ☐その他 () 診断日： 年 月 日 ● 臨床症状：初診日、発症日、初発症状、経過、重症度 ● 血液・生化学検査：血算、生化学、炎症マーカー、免疫学的検査 ● 髄液検査：細胞数、蛋白、糖、オリゴクローナルバンドなど ● 画像検査：CT、MRI 所見 ● 電気生理学的検査：筋電図、神経伝導検査所見 ● 病理組織検査：筋生検、神経生検、皮膚生検所見 ● 治療内容：薬物療法、開始日、使用薬剤、治療期間、治療効果 ● 経過・予後：機能予後、生命予後 ● 生体試料の解析：生体試料は臨床検体の残検体を使用し、研究目的での採取は行わない ただし、通常診療で行われる範囲の解析であり、解析は後ろ向きに行われ、本研究のために追加測定は行わない。 保存試料：診療時に検査のために採取した残余検体を使用します。 ● 血液検体（炎症性サイトカイン測定、免疫細胞解析、自己抗体測定） ● 髄液検体（炎症性サイトカイン・ケモカイン測定、髄液細胞解析） ● 組織検体（筋生検、神経生検、皮膚生検：免疫組織化学染色、病理組織学的評価）
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	該当なし（単機関研究のため、他機関への提供は行いません）
試料・情報の二次利用	取得した試料・情報は、将来、別の新たな神経・筋疾患に関連する研究に利用する可能性があります。その場合は、再度、倫理委員会へ申請し研究機関の長の許可を得てから実施いたします。
個人情報の取り扱い	検体・診療情報を研究で使用する際は、お名前の代わりに研究用の番号を付けて匿名化し、個人が特定できないようにします お名前と研究用番号の対応表は、第三内科 赤嶺博行が、第三内科医局で厳重に管理します 論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切使用しません 同意の範囲外での情報利用は行いません
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は研究費用を必要といたしません。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：098-894-1301（内線 1413） 担当者：赤嶺 博行
備考	